



「カゼかな？」と思ったら 【受診前に電話！】

ホームドクター「こぶし先生」の

不定期日記 ①

コロナ禍の中、多くの東淀川区民の皆さまは、病気になったらどうしようと不安を感じているのではないのでしょうか。実は医療者側も、皆様と同じように不安の中で病気に闘っています。



ある日の診療で平熱だけど咳のある患者さんを診察した後日、その人が新型コロナウイルス陽性だったという連絡を受けました。多くの診療所では感染症疑いの人は他の患者さんと分けて診察します。スタッフは防護服を着用するので感染の危険は軽度ですが、受け入れ態勢を事前に整えるため発熱はもちろん、カゼ症状の患者さんは、受診前にクリニックに電話をするようお願いしています！

もしも準備が整っていない診療所に新型コロナウイルスの患者さんが入ってしまい、防護服をつけていないスタッフや他の患者さんと接触していたらどうなったでしょう。受診中の患者さんは、感染した場合に死亡率が高くなる基礎疾患を

持っていることが多いのです。スタッフの中には妊婦や育児世代の母親もいるかもしれません。それでも医療崩壊を起こさないよう逃げ出さずに踏ん張っています。医療崩壊は医療者や行政の努力だけでは食い止めることができません。



皆さまの協力が必要です。皆さま、熱がなくても咳・鼻水・吐き気・下痢などの症状で受診する時は、事前に電話をして下さい。診察中は患者さんも医療者もマスクを着用しましょう。お互いで協力してコロナ禍を乗り越えましょう。